

# マタギの里観光開発株式会社 経営健全化方針

## 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年3月29日  
作成担当部署 北秋田市産業部商工観光課

## 2 第三セクター等の概要

法人名 マタギの里観光開発株式会社  
代表者名 代表取締役 仲澤 弘昭  
所在地 秋田県北秋田市阿仁打当字仙北渡道上ミ67  
設立年月日 平成10年1月29日  
資本金 80,000 千円 【 当該地方公共団体の出資額(出資割合) 66,000 千円 ( 82.5 % ) 】  
業務内容 北秋田市打当温泉マタギの湯、北秋田市農業者健康管理施設、北秋田市ふるさとセンター(マタギ資料館)、北秋田市農林水産物直売・食材供給施設(道の駅あに)等の管理運営

## 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当該法人は、平成10年1月に第三セクター方式の法人として設立され、北秋田市阿仁打当地区の観光施設の管理運営を担ってきた。平成18年度からは指定管理者として道の駅あにを加えた6施設の管理運営を行い、平成21年度からは財団法人北秋田市森吉観光公社から森吉地区の4施設の管理運営を引き継いでいる。

経営状況については、平成18・19年度には黒字を計上したが、平成20年度以降は、経費総額が粗利益を上回る状態が常態化した。そうした事態を受け、平成27年度に市の支援を受け、当該法人が策定した経営改善計画書に基づいた取組みにより、平成28・29年度には黒字を計上している。

これまでに、市の監査委員による監査を行うとともに、市職員も取締役就任し定期的に経営状況を把握し適宜指導を行ってきたほか、平成27年度には運転資金の短期貸付(平成28年度返済)や、「経営改善計画」の立案後に金融機関からの融資に対する損失補償等の支援を行なっている。

現在、当該法人が破たんした時の財政リスクをみると、平成29年3月期時点で市が負担する可能性がある財政的リスクは110百万円、標準財政規模比で0.0076となっている。

## 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

現在、当該法人が管理運営を行っている打当温泉マタギの湯ほか3施設は、年間6万人以上が利用する施設であり、地域の重要な観光拠点となっているが、立地条件その他の理由から採算性が高い施設であるとはえず、これまでの指定管理者の公募に際しては、当該法人に比較して優良な事業者からの応募がない状況であることから、引き続き当該法人による管理運営を継続する。

また、平成27年度に当該法人が策定した経営改善計画書に基づいた課題解決に向け取組み、利用促進と事業再編、部門連携等により運営効率の適正化を図っていく。

## 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

当該法人が策定した経営改善計画書に基づいて平成28年度から取り組んでいる事業再編や打当温泉マタギの湯での「どぶろく」生産体制の確立、「マタギ文化」により特化した体験・宿泊プランの開発等のほか、道の駅あにでは、産直販売強化や地元住民向け商品の強化等の営業戦略を実行し、各部門間の連携と経費見直し等を図っていく。

また、引き続き市職員が取締役に就任することにより、法人の業績や管理体制を定期的にチェックする体制を整えることで、可能な限り財政リスクを未然に防ぐよう取り組んでいく。今後は、2046年度の純資産額黒字化を目指していく。そのためにも、今後5年間は1年間あたり概ね6,700千円程度の赤字改善を目指していく。

(参考)

## 6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		H27年度	H28年度	H29年度
	資産総額	15,158	16,594	17,522
	(うち現預金)	(1,788)	(3,440)	(4,284)
	(うち売上債権)	(2,140)	(3,231)	(4,184)
	(うち棚卸資産)	(4,566)	(4,338)	(4,319)
	負債総額	128,195	120,829	120,862
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	(59,854)		
	純資産額	-113,037	-104,235	-103,340

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		H27年度	H28年度	H29年度
	経常収益	286,517	209,493	188,891
	経常費用	301,798	200,507	188,412
	経常損益	-15,281	8,986	479
	経常外損益	-114	-184	416
	当期純損益	-15,395	8,802	895

※ 法人の形態に従って適宜書き換えること